



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

大

上場会社名 株式会社ハイパー

上場取引所

コード番号 3054

URL <http://www.hyperpc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉田 宏一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 江守 裕樹

(TEL) 03-6855-8180

四半期報告書提出予定日

配当支払開始予定日

平成24年9月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績 (平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	8,756	—	130	—	127	—	82	—
23年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 84百万円 (—%) 23年12月期第2四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	42.25	—
23年12月期第2四半期	—	—

(注) 平成24年12月期第2四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成23年12月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

平成24年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	4,694	1,566	33.4
23年12月期	—	—	—

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 1,566百万円 23年12月期 —百万円

(注) 平成24年12月期第2四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成23年12月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	11.50	—	11.50	23.00
24年12月期	—	11.50	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想 (平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,100	—	207	—	200	—	112	—	57.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成24年12月期第2四半期より連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。平成24年12月期通期連結業績予想に関しましては、本日公表の「連結決算開始に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1 社 (社名) 株式会社リステック 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年12月期 2 Q	2,011,500株	23年12月期	2,011,500株
24年12月期 2 Q	49,500株	23年12月期	49,500株
24年12月期 2 Q	1,962,000株	23年12月期 2 Q	1,962,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11
(8) その他の注意事項	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、当第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との対比は行っておりません。

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長期化する欧州金融不安など懸念すべき問題が多かったものの、復興需要を背景に国内景気は緩やかに持ち直す動きが見られました。

当社グループが属するコンピュータ販売業界におきましては、パソコンの出荷台数は伸びたものの、価格競争の激化による販売価格の下落が進みました。

このような状況の下、当社グループは顧客との関係強化及び事業間の相乗効果を高めることで、売上の拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,756,443千円、経常利益は127,747千円、四半期純利益は82,900千円となりました。

① 情報機器販売事業

拠点展開を含めた営業体制の強化により販売台数が増加したため、売上高は6,611,069千円、営業利益は143,322千円となりました。

② アスкулエージェント事業

既存取引先の稼働促進や新規取引の拡大が順調に推移したものの、4月に新カタログを発送したことにより販売費及び一般管理費が増加したため、売上高は2,143,178千円、営業損失は8,785千円となりました。

③ その他

その他におきましては、派遣事業等を行っております。

その他全体での売上高は2,194千円、営業損失は4,404千円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当第2四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、4,168,738千円となりました。これは主に、現金及び預金1,157,636千円及び受取手形及び売掛金2,533,554千円によるものであります。

（固定資産）

当第2四半期連結会計期間末の固定資産の残高は、526,133千円となりました。これは主に、無形固定資産355,627千円によるものであります。

（流動負債）

当第2四半期連結会計期間末の流動負債の残高は、2,722,140千円となりました。これは主に、買掛金1,823,969千円によるものであります。

（固定負債）

当第2四半期連結会計期間末の固定負債の残高は、405,759千円となりました。これは主に、長期借入金390,075千円によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、1,566,972千円となりました。自己資本比率は33.4%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当社は、当第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との対比は行っておりません。平成24年12月期通期連結業績予想に関しましては、本日公表の「連結決算開始に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、株式会社リステックは、新規設立したことにより連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

（単位：千円）

当第2四半期連結会計期間 （平成24年6月30日）	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,157,636
受取手形及び売掛金	2,533,554
電子記録債権	60,762
商品	371,198
その他	57,774
貸倒引当金	△12,186
流動資産合計	4,168,738
固定資産	
有形固定資産	46,770
無形固定資産	355,627
投資その他の資産	
投資有価証券	32,757
その他	170,997
貸倒引当金	△80,019
投資その他の資産合計	123,735
固定資産合計	526,133
資産合計	4,694,872
負債の部	
流動負債	
買掛金	1,823,969
短期借入金	400,000
1年内返済予定の長期借入金	234,060
未払法人税等	79,274
賞与引当金	47,521
その他	137,315
流動負債合計	2,722,140
固定負債	
長期借入金	390,075
その他	15,684
固定負債合計	405,759
負債合計	3,127,899

（単位：千円）

当第2四半期連結会計期間 （平成24年6月30日）	
純資産の部	
株主資本	
資本金	250,865
資本剰余金	201,000
利益剰余金	1,136,827
自己株式	△14,979
株主資本合計	1,573,712
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△6,740
その他の包括利益累計額合計	△6,740
純資産合計	1,566,972
負債純資産合計	4,694,872

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	8,756,443
売上原価	7,618,053
売上総利益	1,138,389
販売費及び一般管理費	1,008,258
営業利益	130,131
営業外収益	
受取利息	152
受取配当金	672
広告料収入	1,000
その他	1,100
営業外収益合計	2,925
営業外費用	
支払利息	5,273
その他	36
営業外費用合計	5,309
経常利益	127,747
特別利益	
保険解約返戻金	21,010
特別利益合計	21,010
税金等調整前四半期純利益	148,757
法人税、住民税及び事業税	76,004
法人税等調整額	△10,147
法人税等合計	65,857
少数株主損益調整前四半期純利益	82,900
四半期純利益	82,900

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

（単位：千円）

		当第2四半期連結累計期間 （自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益		82,900
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		1,945
その他の包括利益合計		1,945
四半期包括利益		84,846
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益		84,846

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	148,757
減価償却費	49,286
貸倒引当金の増減額（△は減少）	6,861
賞与引当金の増減額（△は減少）	5,594
受取利息及び受取配当金	△825
支払利息	5,273
固定資産除却損	36
保険解約返戻益	△21,010
売上債権の増減額（△は増加）	△123,986
たな卸資産の増減額（△は増加）	113,114
仕入債務の増減額（△は減少）	51,298
その他	25,873
小計	260,274
利息及び配当金の受取額	823
保険解約返戻収入	52,648
利息の支払額	△5,089
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	10,940
営業活動によるキャッシュ・フロー	319,597
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△68,000
定期預金の払戻による収入	130,000
有形固定資産の取得による支出	△4,627
無形固定資産の取得による支出	△681
事業譲受による支出	△30,086
その他	△514
投資活動によるキャッシュ・フロー	26,089
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	△200,000
長期借入金の返済による支出	△121,835
配当金の支払額	△22,224
財務活動によるキャッシュ・フロー	△344,059
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,628
現金及び現金同等物の期首残高	1,072,008
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,073,636

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報機器販 売事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,611,069	2,143,178	8,754,248	2,194	8,756,443	—	8,756,443
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,611,069	2,143,178	8,754,248	2,194	8,756,443	—	8,756,443
セグメント利益又は 損失(△)	143,322	△8,785	134,536	△4,404	130,131	—	130,131

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、派遣事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

のれんについては、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

(8) その他の注記事項

(企業結合等関係)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。